

| | | | |
|------|--------------------------|---------|----|
| 活動分野 | 森に親しむ講座 | | |
| タイトル | 特別講座「佐倉城址と周辺の巨樹・古木を巡る」 | | |
| 実施日時 | 平成30年7月5日（木）9時30分～13時50分 | | |
| 実施場所 | 京成佐倉駅～甚大寺～麻賀多神社～佐倉城址公園 | | |
| 受講者 | 15名 | F I C会員 | 8名 |

活動の内容

今回は「佐倉」の講座のリターンマッチ。前回行かれなかった帯曲輪や弾薬庫跡も回ることができた。

強風が吹き荒れる中、3班に分かれて出発。

堀田氏の菩提寺の甚大寺では、タラヨウの雌木があり、実がついているのをしっかり確認する。隣接する墓地のエリアには雄木の古木があり、この後違いを見ることができた。また、独特の木肌のカリンの古木、ナギの古木、イヌマキの古木などを間近に見る。千葉県の木であるイヌマキは、生け垣ではよく目にするが、これほどの大木はなかなかない。ナギは強風で実を落としていたので雌木だと分かる。その粉を吹いたような実と平行脈の葉を拾い観察することができた。

麻賀多神社では樹齢800年のイチョウが強風によってたくさんの実を落としていた。ナギ同様、落ちた実をもって雌木であることが確認できた。

佐倉城址公園では浅間坂を下りて、圧倒されるほどのスタジイの大木を何本も眺めながら帯曲輪へ。へび坂を登り切る手前にケンポナシが数本あり、落ちていた枝で、果柄が秋には甘くておいしくなるという事に話が弾む。枝が近くにあったので葉がコクサギ型葉序であることも確認できた。

昼食休憩の芝生広場と天守跡ではチョウトンボが何匹も現れた。また、解散場所の姥が池のエノキの下にタマムシが飛び、花のない時期だけに皆の目を楽しませてくれた。

